

回 覧

しばたまち交流ひろば

ゆる。ぷら倶楽部



2014.6.1 ニュースレター第 47 号

体験会レポート!!

『オカリナ体験会&コンサート』5月5日(月)実施



演奏者の水戸ふぢさんより
 初の体験会でしたが、参加された方々が初めて触れたオカリナの音色に魅了されて帰られたので良かったです。
 また実施できたら嬉しく思います。

『つるし雛 (福幸だるま、うさぎ雛) 作り』5月15日、22日(木)実施



皆さん手際良く針を動かして作っていました。またやってほしい! とのお声がたくさん聞かれました。



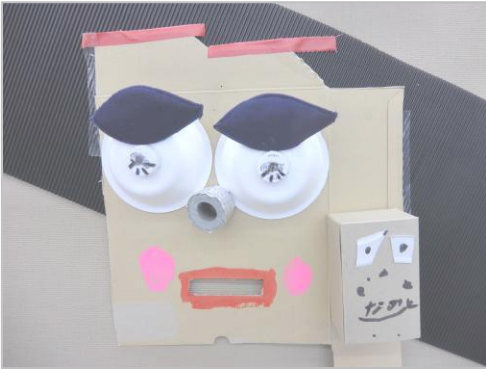
『親子で楽しむアロマスライム作り』5月25日(日)実施



講師 根元さんより・・・触感も面白そうで、ひきのばして遊んでくれたのが良かったです。

5月のギャラリー展示の様子

◎【とっておきの広場 子どもの造形展】(4月29日～5月11日)



高橋邦子さんより
小学生から中学生までの5人の子供達は、豊かな発想を持っています。いろいろな素材に触れることで想像力が高まります。「見えないものを心で見える」ことのできる子供達の作品です。また来年の展示に向かって発進していきたいと思えます。

◎【柴田水墨画愛好会作品展】(5月13日～5月25日)



墨の濃淡・明暗だけで描いたとは思えない見事な作品の数々。会員の中には、始めてわずか3か月の作品も展示されていました。



まちづくり推進センター情報

【地域づくり支援員レポート】

まちづくり推進センター（ゆる.ぷら）を拠点に地域支援活動をしている「地域づくり支援員」。その地域づくり支援員からの巡回レポートです。

区民の方々が広く情報を共有できるよう催し物（イベント）や身近なニュース等区内の旬情報を発信する広報紙は多くの行政区で発行されています。今回は、地区広報紙を発行している地区のうち、3地区の区長さんから広報紙について発行の意義や効果等について話を伺いましたので紹介します。また、「樅の木音頭」の復活に向けて活動をしている“復活”樅の木音頭普及保存会の活動の様相についてお伝えします。

【地区情報紙の発行】

1. 第1行政区 昆野義明 区長

毎月発行している「区会だより」は、4月の発行で第140号となりました。紙面は高齢者が多いことから文章化を避けカラー写真を多く掲載して区内での出来事、行事の実施結果報告、近々の行事案内等の内容となっています。また、告知を必要とする事項は、回覧用としてその都度作成しています。全区民が平等に情報を知り、イベントへの参加を公平に呼び掛けができる広報紙は区運営に欠かせません。中でも「いこいの日」参加者の増加は、広報紙発行の効果ではないかと思っています。写真撮影や編集の苦労もありますが、継続発行に努力していきたいと思っています。



2. 第13行政区 加茂行 区長

月の中旬と下旬の2回、定期的に発行している「区民の皆様へ」は、4月下旬の発行で第242号となりました。区内での出来事、区行事結果・案内、区長会報告、町の動き等を掲載して情報を発信しています。広報紙は、周知の手段としてはもちろんですが、区民の意思統一や情報の共有を図るには最適と考えています。また、区の人口動態を掲載して区の活性化度合も伝えていきます。さらに、緊急告知があれば回覧用として別途作成しています。発行当初は、内容がもの足りないなど反省していましたが、現在は掲載する情報量も多く、それなりの内容となっているのではと思っています。継続発行するという信念と長年の経験から発行作業は苦とは思いません。時々「ネタ切れ」となることが頭痛の種となっていますが、読んでもらえる広報紙作成に努めていきたいと思っています。



前のページより

3. 第18B行政区 櫻井博 区長

広報紙「やまね」創刊号を26年1月に発行しました。計画では年4回の発行としています。内容は、総会で承認された事業の実施結果報告・事前案内、区内子ども達の動き、転入者紹介、転入者のための地域文化財の紹介、グループの活動状況等を掲載しています。広報紙は、地域や柴田町でどのようなことが行われているかを知らせることができ、地区住民にとって大切な情報共有の手段になっていると思います。編集は地区役員で話し合いながら行っていますが、継続発行には区民の皆さんの協力が必要だと感じています。発行し続けるという思いを持ち続け、目的、編集方針を確認しながら、今後も計画どおりに発行できるよう努力していくつもりです。

**【復活！「縦の木音頭」～地域を盛り上げるために～】**

皆さんは「縦の木音頭」をご存知でしょうか？音頭の復活に取り組む“復活”縦の木音頭普及保存会の27名が4月20日（日）、花見客で賑わう船岡城址公園三の丸広場で「縦の木音頭」を披露しました。お客さんの中には踊り手と一緒に体を動かし楽しんでいる方もいました。普及保存会の今野年喜男会長に縦の木音頭について尋ねたところ「昭和45

年、NHK大河ドラマ『縦ノ木は残った』が放映された後に『縦の木音頭』が制作され町内各地で親しまれたが、4、5年経過後踊り手の減少等から途切れてしまいました。地域活性化に一役買うためにも再度盛り上げていきたいので、地域を訪問して踊りを披露したり、一緒に踊ったりしたいので連絡を頂きたいです。「(仮称) さくら連絡橋」が来年完成しますが、その際に完成祝賀行事があれば是非参加させてもらって、大勢の踊り手でお祝いしたいと考えています。」とのことでした。踊り手の一人である島貫孝雄さんは「ユニホームを着て楽しく踊り、人に見てもらうことが生き甲斐なのでこれからも踊り続けたい。夏祭り等で若い人や多くの方に踊ってもらえれば。」と笑顔で話してくれました。

【問合せ先】 “復活”縦の木音頭普及保存会 会長 今野年喜男さん 55-3763

柴田町地域づくり支援員 本郷良治 大内 進

6月は旧暦で水無月ですが“水が無い月”ではなく、“無”は“の”にあたる助詞のことで「水の月」という意味、田植えが終わって水を張る必要があることから「水の月」→「水無月」と呼ばれるようになったようです。

水を張った美しい田んぼ、どうか秋には美味しいお米が食べられますように、お米を作ってくださいる方に感謝しながら、良い天候を願わずにはられません。

ゆる.ぷらスタッフより

(お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる.ぷら

(イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00～18:00

<6月の休館日:毎週月曜日>

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172

